

平成21年2月5日(木)

H20年度 長岡技術科学大学 - 同窓会連携協議会 議事録

同窓会常務理事

吉田 富美男

日時：平成21年2月5日(木) 10:00～11:00

場所：長岡技術科学大学 第二会議室

出席者：大学側：小島学長，丸山理事，西口理事，鳥越理事

同窓会側：宮下顧問、磯部会長、松川理事、内山理事、吉田理事

陪席：野口総務部長、金澤総務課長、佐藤学務課長、本澤広報係長

1. 長岡技術科学大学と同窓会の情報相互提供について

(1) 現状と課題

同窓会の現状

同窓会吉田理事より同窓会での現状について以下の説明があった。

- ・平成18年度まで、及び平成19年度3月卒業分については(学務課のご協力により)卒業生の卒業時の所属および氏名はほぼ把握できている。
- ・しかし、連絡を行うための住所情報などについては学生の自主入力に依存しているため、年々、登録数が減少しており、名簿の精度向上の対策が必要である。

長岡技術科学大学の現状

大学での卒業生情報の把握について以下の意見があった。

- ・しばらく前まではかなり正確に把握している系もあった(例、建設系)。
- ・研究室毎に卒業生の情報をかなり把握しているところもある。
- ・ただし、退官された先生については、研究室の消失変更等により把握が困難な場合もある。

他大学の現状

他大学での卒業生情報の把握について以下の意見があった。

- ・学年ごとに担当者(幹事)をおいているところもある。
- ・上越教育大学などのように、かなりしっかり把握しているところもある。

(2) 対策

検討の結果、今後は以下のように取り扱うこととなった。

平成21年度以降の入学生について

- ・学務課から入学生に対して、以下を周知して頂けることとなった。
- ・同窓会に個人情報を提供する旨の文言を入学手続き書類に挿入(今年度は間に合わないため1枚ものを挟み込む)し、異論があれば申し出ることとする。
- ・学務課から同窓会に対して、卒業時に以下の情報を提供して頂けることとなった。
 - ・異論のなかった学生については、(連絡可能な帰省先を含めて)必要情報を提供。
 - ・異論のあった学生については、所属および氏名のみを提供。

平成20年度以前の入学生について

- ・平成19年度の3月以外の卒業生、及び平成20年度以降の卒業生については、住所等は本人の承認が必要なため提供は困難であり、従来通り同窓会からの依頼に応じて、

学務課から所属、氏名のみ提供していただくこととなった。

- ・その他必要な情報は、同窓会から各系教員に働きかけ、情報収集を行うこととなった。

(3) 提案(以下はアイデアであり具体的な内容については同窓会理事会で検討する。)

名簿情報の管理に関して、以下の提案があった。

- ・同窓会の名簿と大学で把握している卒業生名簿とのすり合わせが必要。
その場で、技大案内パンフレット記載数字とほぼ一致していることを確認した。
- ・各系各学年に担当者をおき、情報収集を図ってはどうか。
- ・各系卒業年毎に、クラス幹事を決めて卒業生の連絡先や異動先等を把握させる。
- ・同窓会でアルバイトを雇用して、名簿等の管理作業をやらせたらどうか?
- ・同窓会支部単位で、卒業生の情報を集約して本部へ連絡する体制を構築する。
- ・年会費の徴収(卒業生との繋がりをつける。VOS や会報の送付など必要)

2. その他

(1) 同窓会役員自己紹介

同窓会側参加者が簡単な自己紹介を行った。

(2) 同窓会会費

同窓会会費に関連して以下の報告、提案があった。

- ・現在は、入学時に永久会費を集めている。
- ・他大学では、年会費を徴収しているところもある。
- ・同窓会活動の活発化を図るためには、将来的には年会費の徴収を検討する必要がある。
- ・そのためには、卒業生にとって魅力あるサービスの提供が必要。
- ・年会費を徴収する場合には、卒業生、同窓会双方に手間がかからないように、毎年ではなく、5年あるいは10年単位で徴収することが望ましい。

(3) 同窓会の活動状況

現在の同窓会の活動状況について同窓会吉田理事より報告があった。

従来 of 活動内容

- ・名簿管理(情報収集および情報提供)
- ・卒業式をはじめとする各種助成

30周年以降の活動内容

- ・新技術!説明会の開催
- ・在学生への就職支援活動(OG、OBトークなど)
- ・技大祭等各種行事への協力及び助成

(4) 今後の同窓会活動

今後の同窓会活動について以下の意見があった。

基本方針

- ・卒業生にとって魅力あるサービスの提供が必要。
- ・私的な交流のみではなく、ビジネス上の交流も支援できれば望ましい。
- ・インターネットの活用
 - ・大学では希望する卒業生に対してパーマネントアドレスを提供している。
 - ・郵便では費用がかかるため、パーマネントアドレスを利用したEmailによる連絡など、

インターネットを活用したサービス展開を検討する必要がある。

当面の活動内容

同窓会宮下顧問から、現在以下の活動を進めている旨の説明があった。

- ・同窓会賞の設立（昨年6月付、理事会起案資料を配付）
- ・新潟支部の設置
 - ・まずは県内支部を結成、続いて全国に支部を広げる。
 - ・卒業生の活用等により、技大と地域企業を相互に知る工夫(場)が必要。

(5) その他

その他、大学と同窓会との連携について以下のように進めることとなった。

退官教員への連絡

- ・退官教員の連絡先などは個人情報などで直接提供はできないため、必要に応じて大学と協力して連絡などを行うこととなった。
- ・2009年5月20日(土)午後、技大名誉教授の集いを計画しており、同窓会としても、何らかの形で参加協力できれば望ましい。

助成の対象や範囲

- ・大学としては、クラブなどに所属していないと助成は難しい。
- ・それ以外の、在校生、卒業生の活動への助成については、事務局と検討を進めていくこととなった。